

取扱説明書：Ver 1.01

SDE-259 / SDE-260

ランドネストドーム S / M

SET-259 / SET-260

ランドネスト S / M テントタープセット(テント)



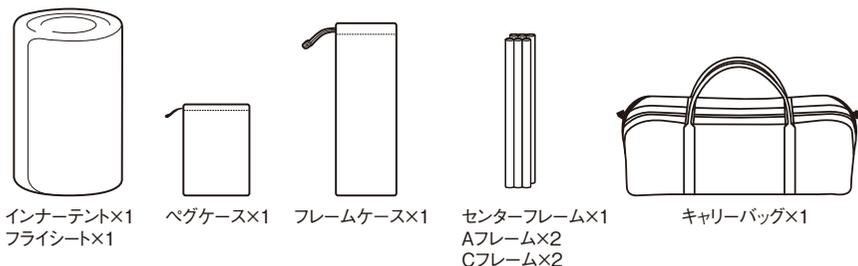
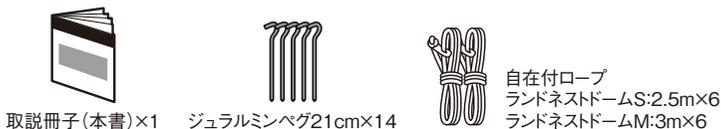
ランドネストドームS



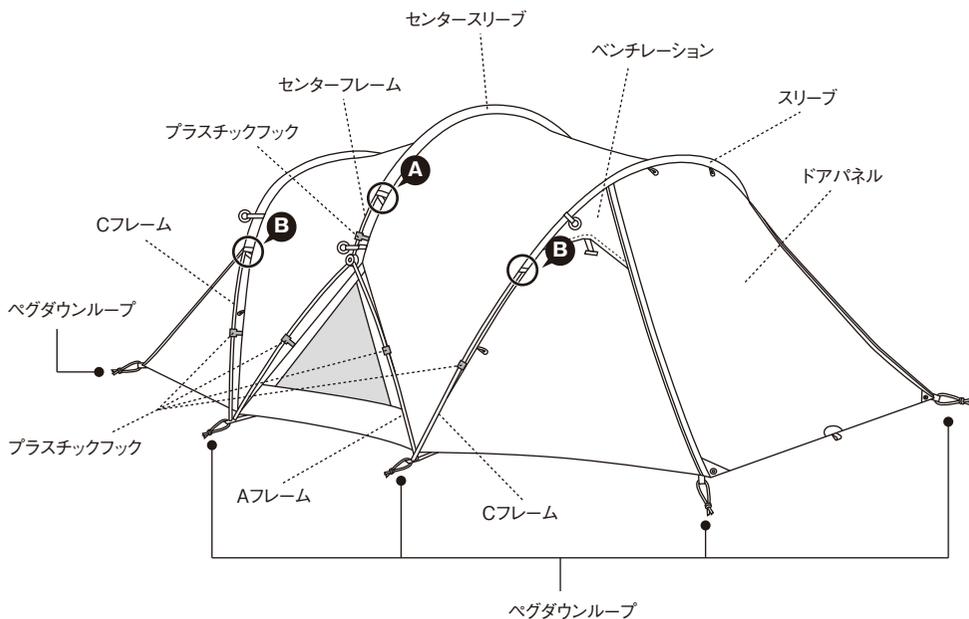
ランドネストドームM

この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用テントです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容



各部の名称



安全上の注意事項 ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- このテントの素材は難燃性ではありません。テント内では燃烧式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れがあり大変危険です。
- テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- 気象条件には常に細心の注意を払い、風の強いときや悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。天候によりテント内が高温になり、熱中症などの危険があります。お客様の昼寝の際になど、細心の注意を払ってください。
- 風が吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。
- ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。



⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。
- 日差しにより本体表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を振り、生地にも穴をあけてしまう場合があります。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかり支えて作業してください。フレーム先端のハネ返りなどで思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認してください。
- ペグや張り綱でしっかりと固定して使用してください。
- テントの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度不足を起こしますので、常設用として使用しないでください。

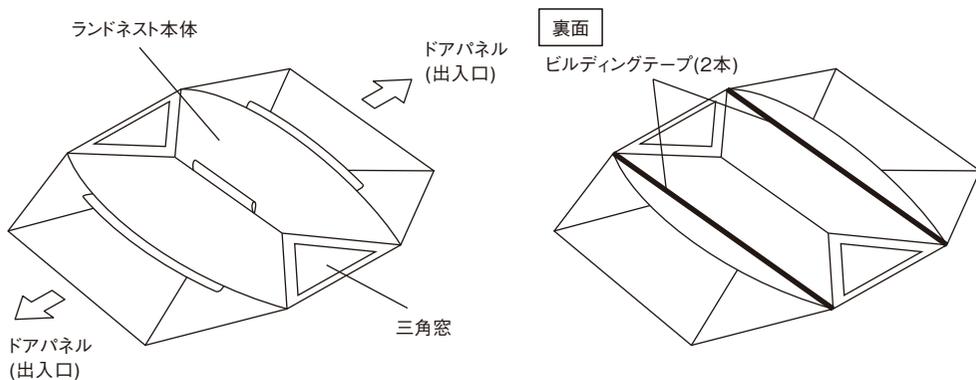
メンテナンス方法

- 本製品にはポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、若干の色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや異臭、生地の色うつり、生地の劣化などのトラブルの原因となりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで汚れを落としてから保管してください。
※フレームを通した状態のままに迷ささないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
またフレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系潤滑剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書を良くお読みください。
- ご使用により広囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- 次の使用に備え、ペグなどの付属品も含め、十分に保守、点検をしてください。

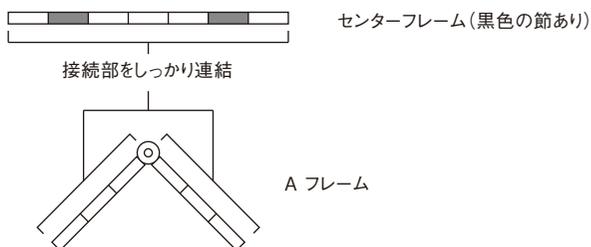
設営の手順

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。また、付属品が全て揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・撤収は本体やボールの破損や事故の原因になります。本書をよくお読みになりご使用ください。

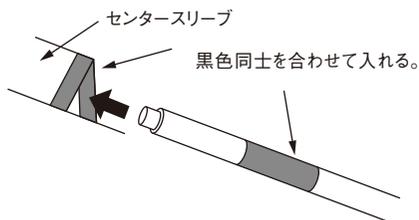
- ① 本体を平らな場所に広げます。
その時、2つある出入口用ドアパネルの向きを考慮してください。
※ビルディングテープのバックルが2本とも接続されている事を確かめてください。もし外れている場合は設営前に必ず接続してください。
※基本的に三角窓を風上に向けます。



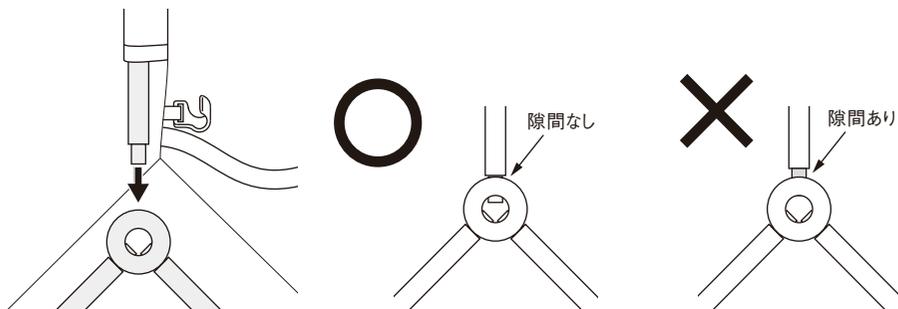
- ② センターフレームとAフレーム×2を伸ばし、接続部をしっかりと連結します。
※フレームの連結部分に隙間ができないようにしっかりと差し込んでください。



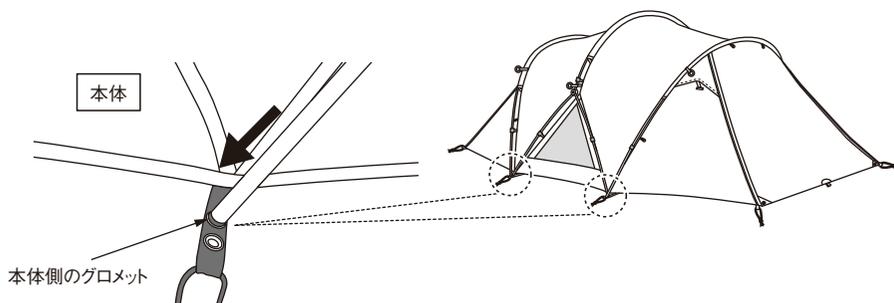
- ③ ①の箇所 (“各部の名称”を参照)を確認し、センタースリーブにセンターフレームを通します。



- ④ センターフレームの片側にAフレームを接続します。
センターフレームの先端が最後までAフレームに差し込まれていることを確認してください。

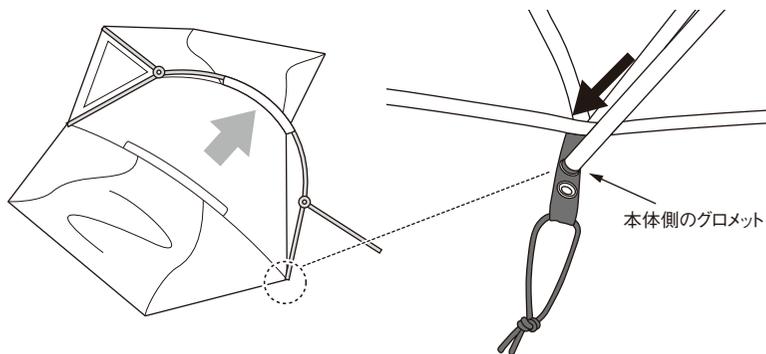


- ⑤ Aフレームの先端を本体側のグロメットに差し込みます。×2箇所

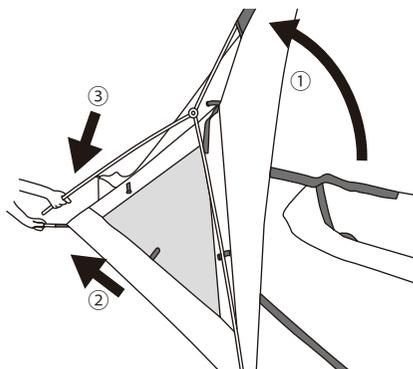


- ⑥ もう一方のAフレームも④同様にセンターフレームに差し込みます。

- ⑦ センターフレームを下図のようにしならせながらAフレームの片方の先端を本体側のグロメットに差し込みます。

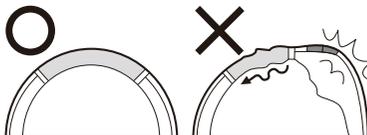


- ⑧ フレーム全体をゆっくり起こしながら、グロメットを手前に引き寄せてください。
Aフレームのもう片方の先端を本体側のグロメットに差し込みます。

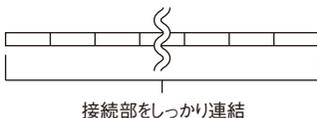


①～②:フレームを起こしながらグロメットを引き寄せる。
※この時、黒色の節がスリーブ内に収まるように全体のバランスを確認しながら行ってください。

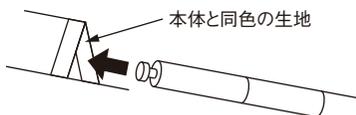
③Aフレームをグロメットに差し込む
※フレームが自立したら、フレーム同士がしっかりと接続されているか確認してください。



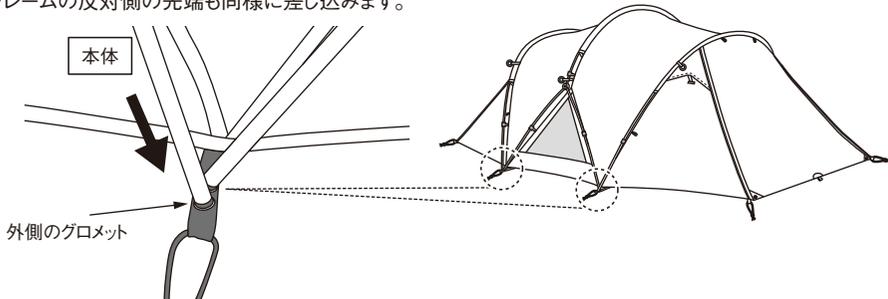
- ⑨ Cフレーム×2を伸ばし、接続部をしっかりと連結します。
※フレームの連結部分に隙間ができないようにしっかりと差し込んでください。



- ⑩ ③の箇所(“各部の名称”を参照)を確認し、スリーブにCフレームを通します。



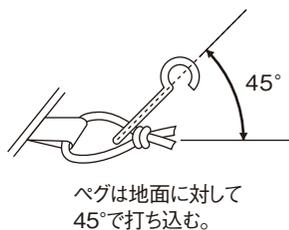
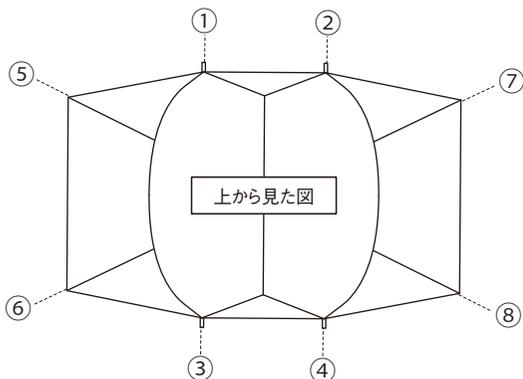
- ⑪ スリーブに通し終わったら、Cフレームの先端を外側のグロメットに差し込みます。
Cフレームの反対側の先端も同様に差し込みます。



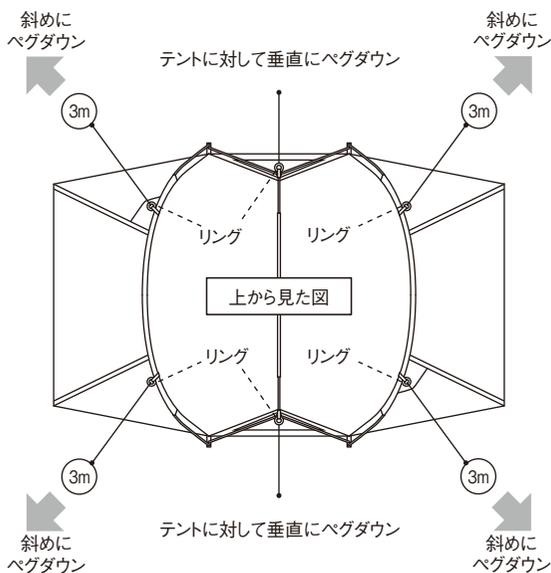
- ⑫ もう一方のCフレームも⑪同様にセンターフレームに取り付けます。

- ⑬ 本体に付いているプラスチックフックを各々のフレームにひっかけます。
裾部に付いているペグダウンループにジュラルミンペグを通し、ペグダウンします。
※ペグは最後まで打ち込んでください。
※ペグは無理に打ち込むと、曲がりや折れなどの破損につながります。少しずつ打ち込み、石などの障害物にあたった場合は場所を変えてから打ち込んでください。
※ファスナーを開めずにペグダウンすると、ドアが閉められなくなることがあります。

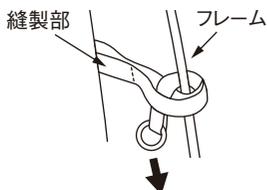
- ⑭ 各コーナーループを下図の順に軽く引いて、たるみの無いようベグダウンしてください。



- ⑮ 各ロープを伸ばし、ペグを打ち込みます。

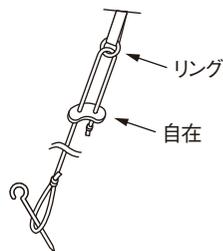


リング付きロープの取り付け方



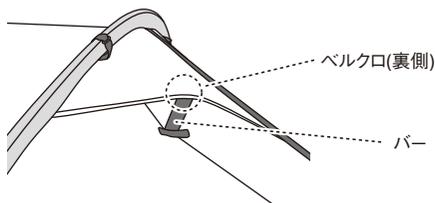
テープをフレームに巻き付け、縫製部手前のテープの間を通して引っ張る。

ロープの取り付け方



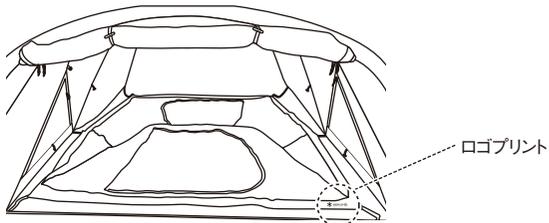
- ⑯ ロープの自在を引き、テンションを掛けます。
※ロープの引きすぎにご注意ください。引きすぎるとフライシートに負担がかかり破損する恐れがあります。

- ⑰ ベンチレーションのバーを起こしてベルクロで固定します。(2箇所)

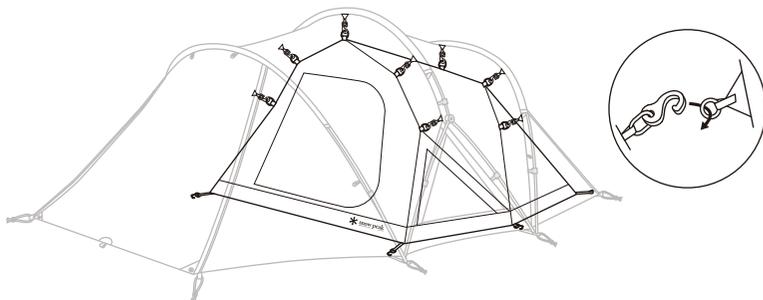


インナーテントの取り付け方

- ① インナーテントの前後を確認して、室内に広げます。
インナーテントはボトムにロゴプリントが入っている方が室内側です。
※フライシート本体には前後の設定はありません。

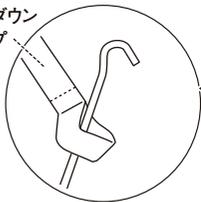


- ② インナーテントのプラスチックフックをフライシート内側のプラスチックリングに引っ掛けます。



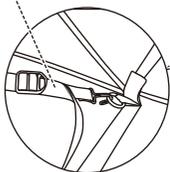
- ③ ボトムの各コーナーを下図にしたがって取り付けてください。

ベグダウン
テープ



後部2箇所につくベグダウンテープは、
本体(フライ)を留めるベグに引っ掛けます。

フック付きテープ



ボトムコーナーに付く、フック付きテープ(アジャスター付き)を
フライシート裾部内側のリングに引っ掛けます。

ボトム両サイドに付く、フック付き
テープをフライシート裾部内側の
リングに引っ掛けます。

撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナールームを取り付けた場合や、別のテント/タープ等を併用していた場合は、必ずインナールームや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中にも何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にすべてのビルディングテープが接続されていることを確認してください。次回設営時にペグダウンしやすくなります。
- メインポールは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- ペグはすべて抜き、汚れを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリアバッグ等を傷付けることがあります。

結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルター等の限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気を行ってください。

撥水・防水性能について

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせで使用しています。いずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や、耐久性)に若干の差が見られる場合があります。ご了承ください。
- 撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水性が衰えてきたときは市販の撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜まりなどと長時間接触していると雨水が浸み、部分的に色が変わることがあります。

紫外線の影響について

- 本製品にはフライシートの生地にUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化を緩和します。
- ※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- テント素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
 - 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。

こんなときは

Qキャンプ場でフレームが折れてしまったとき

A:応急処置として速やかに付属のリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

Q:キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき

A:傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。

Q:撥水が衰えてきたとき

A:撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q:生地にカビが発生したとき

A:カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。1.素材の経年劣化による損害など商品の寿命 / 2.改造および粗雑な取扱いによる故障 / 3.取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障 / 4.不測の事故による商品の故障 / 5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障 / 6.ゴミやさびによる故障 / 7.分解したことによる不具合の発生または破損 / 8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合 / 9.摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障 / 10.他社製品との組み合わせによる故障

修理について

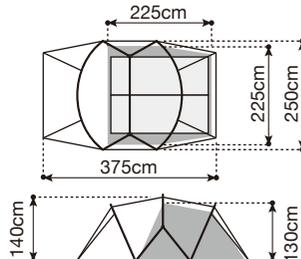
- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

ランドネストドームS

- 材質:テント本体 / 75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・撥水加工・UVカット加工、インナーウォール / 68Dポリエステルタフタ、ボトム / 210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、フレーム / A6061 (φ13mm)
- キャリーバッグサイズ:65×20×25(h)cm
- 重量:7.2kg

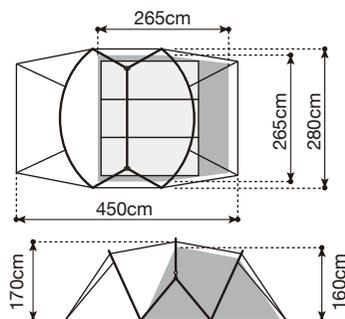
○対応人数 2名



ランドネストドームM

- 材質:テント本体 / 75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・撥水加工・UVカット加工、インナーウォール / 68Dポリエステルタフタ、ボトム / 210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、フレーム / A6061 (φ13mm)
- キャリーバッグサイズ:70×21×25(h)cm
- 重量:8.7kg

○対応人数 3-4名



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス
☎ 0120-010-660 (9:00~17:00)
Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

取扱説明書：Ver 1.01

TP-870

ランドネストタープセット

SET-259 / SET-260

ランドネスト S / M テントタープセット(タープ)



この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用のタープです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

注意事項

フィールドでは予測不可能な事態が突発的に発生し、時にはプロダクツの性能を超えるような状況に直面する場合があります。以下の説明がすべての危険な状況を説明している訳ではありません。プロダクツの性能をよく理解したうえで安全なキャンプをお楽しみください。

安全上の注意事項 ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- このタープの素材は難燃性ではありません。テント内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れがあり大変危険です。
- タープ下に燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強いときや悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。天候によりタープ下は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。
- タープは表面積が大きく体感風量よりはるかに大きな力を受けます。ご使用中はペグや張り綱がしっかりと繋がれているかどうかを定期的に点検してください。強風下ではタープの使用を中止してください。



⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。
- 日差しにより本体表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地に穴をあけてしまう場合があります。
- タープの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度不足を起きますので、常設用として使用しないでください。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- タープの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返りなどで思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認してください。
- ペグとロープでしっかりと固定して使用してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損する恐れがあります。ご注意ください。
- 足もとの常設用ロープやペグにはご注意ください。足を引っかけて転倒し、思わぬ事故の原因となります。

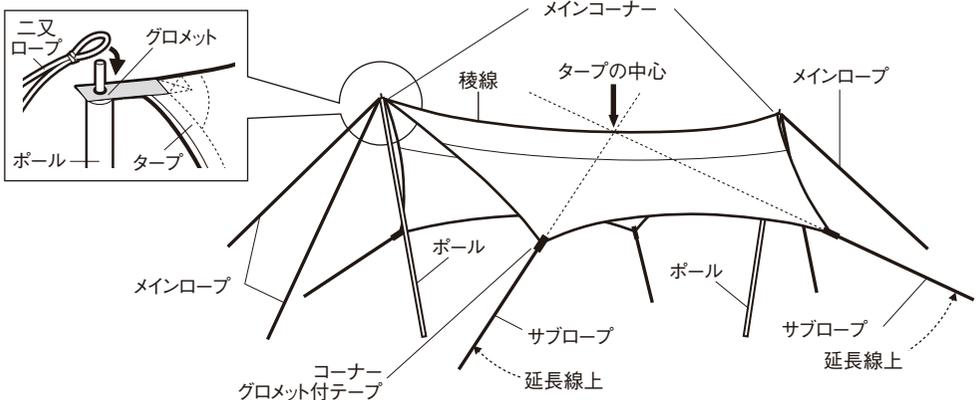
初めてお使いになる前に

品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営手順を確認してください。万一不具合があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

■セット内容 ※本品はハンマーは含まれておりません。

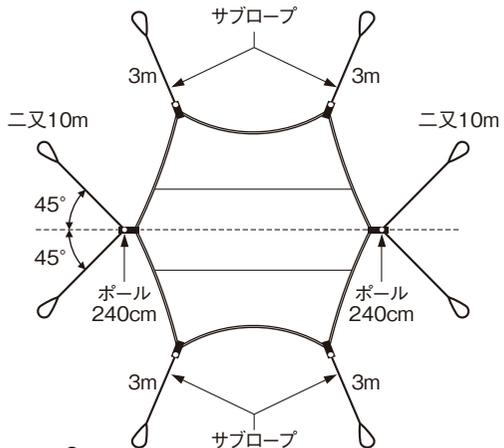


部分名称・ロープの取り付け位置



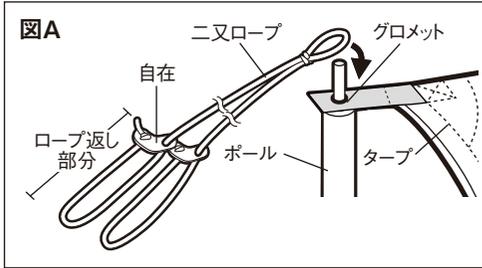
■タープへの張り網取り付け

- 自在付ロープ
- ・メインロープ 二又10m×2
 - ・サブロープ 3m×4



設営の手順

■設営・撤収・収納は以下の説明に従い繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。
無理な設営・撤収は、本体やポールの破損、事故の原因になります。

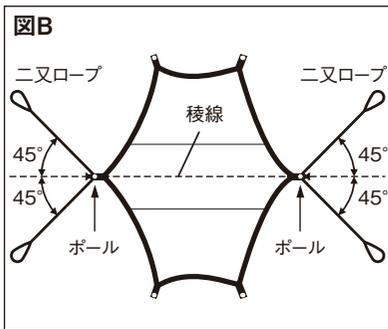


0) 設営は必ず2人以上で行ってください。

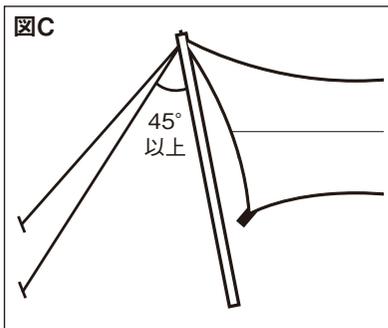
1) タープ本体を平らな場所に広げます。

2) ポール先端をメインコーナーの三角金具に差し込み、その上からメイン用二又ロープを掛けます。
(二カ所)この時、ロープの返し部分は自在の位置を調節し、すべて同じ長さにしてください。

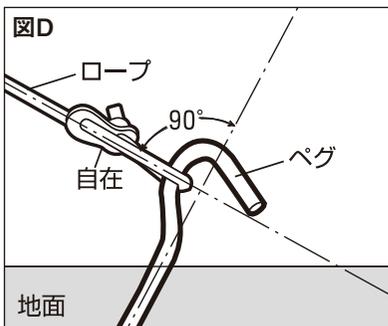
【図A】



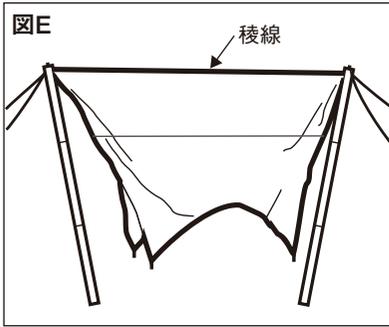
3) 2本のポールを立ち上げ、それぞれを結ぶタープの稜線に対して外側に二又ロープを引き、ポールを中心に左右それぞれ約45°に開いた位置にベグダウンします。【図B】



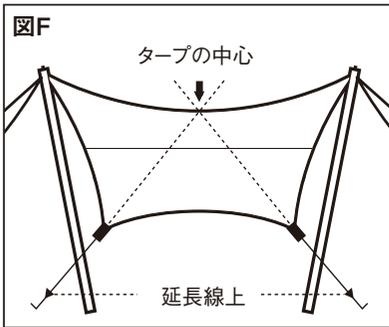
※それぞれのロープ間の角度が90°以上広い位置でベグダウンするとポールにテンションが伝わらず、正しく設営することができなくなりますので注意してください。【図B】 ロープの角度がポールに対し45度以上となるのが理想的なベグダウンの位置です。【図C】



また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにベグダウンします。【図D】

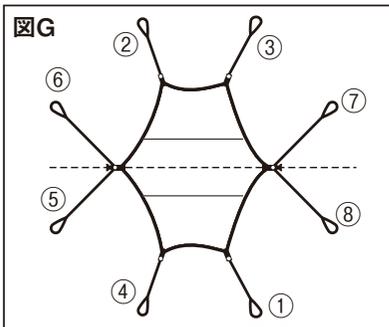


4) ロープの自在の位置を調節し稜線部分がしっかりとテンションのかかった状態にします。【図E】

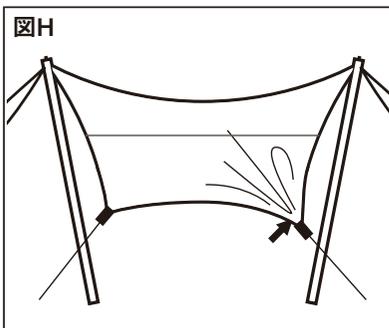


5) タープの中心から両翼のコーナーを結ぶ延長線上(各コーナーのグロメット付テープの取り付け方向の延長線上)にサブロープを引きベグダウンします。(4ヵ所)【図F】

※ロープの方向が狂うと、シワの原因になり、正しく設営する事ができなくなりますので注意してください。



6) サブロープから番号順にテンションを掛けます。両翼のサブロープは対角線のローテーションで8割程度の力で均等に引き、稜線部の緩みが綺麗に取れた後に、メインロープのテンションを掛けます。最後にすべてのロープをもう一度、番号順にあと2割の力で引き、仕上げます。【図G】



※ロープの引き過ぎにご注意ください。強く引きすぎている場合は、その方向に大きなしわが発生します。しわの出ているコーナーのサブロープを緩めて、全体のテンションバランスを調整してください。【図H】

※タープが緩んだ状態やしわの入った状態で使用すると、風を大きく受けて倒れたり、雨が流れず溜まってしまうなど、大変危険です。

7) 仕上げたときのポールの角度はポール先端がメインロープのテンションに引かれ、外側に若干傾斜するようになります。その時、ロープの角度がポールに対し45度以上となるのが理想的なベグダウンの位置です。【図C】

ケースへの収納

最初にポールをゆっくり倒し、先端の金具とメインロープを外します。ベグを抜いて、それぞれのロープを束ねた後、キャリアバッグの長さに合わせてタープ本体を折りたたみ、キャリアバッグの中に入れます。

□ポールやベグはそれぞれ付属の専用ケースに先端部が上になるように入れ、キャリアバッグに収納してください。むき出しの状態では収納すると本体生地を損傷することがあります。

結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特に狭い空間では、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となり結露が発生します。特に防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。

撥水・防水性能について

- 本製品はいずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農業などでPUコーティングが破壊され耐水压が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

- 本製品の生地にUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化を緩和します。
- ※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。

メンテナンス方法

- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお問い合わせいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 本製品にはポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、若干の色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや異臭、生地の色うつり、生地の劣化などのトラブルの原因となりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかい布などで汚れを落としてから保管してください。
- ポールは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。またポール内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ご使用により広囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- 次の使用に備え、ベグなどの付属品も含め、十分に保守、点検をしてください

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命。
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障。
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障。
4. 不測の事故による商品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやさびによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障。
10. 他社製品との組合せによる故障。

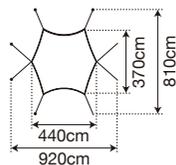
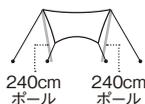
修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

- 材質:210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニナム・撥水加工・UVカット加工
- セット内容:タープ本体、スチールポール(240cm×2)、スチールベグ(30cm×8)、自在付ロープ(二又用10m×2、3m×4)、キャリーバッグ、ポールケース、ベグケース
- キャリーバッグサイズ:75×15×18(h)cm
- 重量:7.2kg

対応人数

4名



不明な点やお気付きの点がございましたら、
販売店様または弊社ユーザーサービスまで
お問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス
 **0120-010-660** (9:00~17:00)
Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp